

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成31年1月10日 (2019.1.10)

【公表番号】特表2015-537054(P2015-537054A)

【公表日】平成27年12月24日 (2015.12.24)

【年通号数】公開・登録公報2015-081

【出願番号】特願2015-547083(P2015-547083)

【国際特許分類】

C 0 7 C 45/72 (2006.01)

C 0 7 C 49/04 (2006.01)

C 0 7 B 53/00 (2006.01)

C 0 7 B 61/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 C 45/72

C 0 7 C 49/04 A

C 0 7 C 49/04 E

C 0 7 B 53/00 B

C 0 7 B 61/00 3 0 0

【誤訳訂正書】

【提出日】平成30年11月20日 (2018.11.20)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 8 1

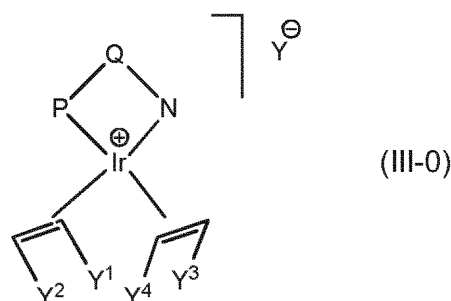
【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 8 1 】

キラルイリジウム錯体は配位原子として N および P を有するキレート化有機リガンド、2 つのオレフィンまたは 2 つの炭素 - 炭素二重結合を有するジエンのいずれかに結合していることが好ましく、それ故、キラルイリジウム錯体は以下の式 ( I I I - 0 ) を有することが好ましい。

【化 6】



( 式中、

P - Q - N は、不斉中心を含むか、または、面性もしくは軸キラリティーを有し、かつ、前記錯体のイリジウム中心に対する結合部位として窒素およびリン原子を有するキレート化有機リガンドを指し、

Y<sup>1</sup>、Y<sup>2</sup>、Y<sup>3</sup> および Y<sup>4</sup> は、相互に独立して、水素原子、C<sub>1</sub> - C<sub>12</sub> アルキル、C<sub>5</sub> - C<sub>10</sub> - シクロアルキルもしくは芳香族基であり；または、これらの少なくとも 2 つが

一緒になって、少なくとも 2 個の炭素原子を有する少なくとも 2 価の架橋された基を形成し；ただし、 $Y^1$ 、 $Y^2$ 、 $Y^3$  および  $Y^4$  のすべてが水素原子とされることはなく；ならびに

【化 7】



は、アニオンであり、特に、ハライド、 $PF_6^-$ 、 $SbF_6^-$ 、テトラ(3,5-ビス(トリフルオロメチル)フェニル)ホウ酸イオン( $BArF^-$ )、 $BF_4^-$ 、過フッ素化スルホン酸イオン、好ましくは  $F_3C-SO_3^-$  または  $F_9C_4-SO_3^-$ ； $ClO_4^-$ 、 $Al(OC_6F_5)_4^-$ 、 $Al(OC(CF_3)_3)_4^-$ 、 $N(SO_2CF_3)_2^-$ 、 $N(SO_2C_4F_9)_2^-$  および  $B(C_6F_5)_4^-$  からなる群から選択される )

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0090

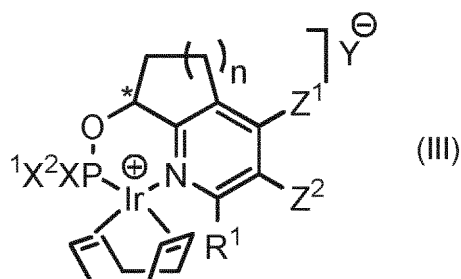
【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0090】

キラルイリジウム錯体の高度に好ましいクラスは、式 (III) のキラルイリジウム錯体である。

【化 9】



(式中、

$n$  は、1 または 2 または 3、好ましくは 1 または 2 であり、

$X^1$  および  $X^2$  は、相互に独立して、水素原子、 $C_1 \sim 4$  アルキル、 $C_5 \sim 7$  シクロアルキル、アダマンチル、フェニル (1 ~ 3 個の  $C_1 \sim 5$  -、 $C_1 \sim 4$  アルコキシ、 $C_1 \sim 4$  - パーフルオロアルキル基および / または 1 ~ 5 個のハロゲン原子で任意選択により置換されている)、ベンジル、1 - ナフチル、2 - ナフチル、2 - フリルまたはフェロセニルであり、

$Z^1$  および  $Z^2$  は、相互に独立して、水素原子、 $C_1 \sim 5$  アルキルまたは  $C_1 \sim 5$  アルコキシ基であり、

または、 $Z^1$  および  $Z^2$  は、一緒になって、5 ~ 6 員環を形成する架橋基を指し、

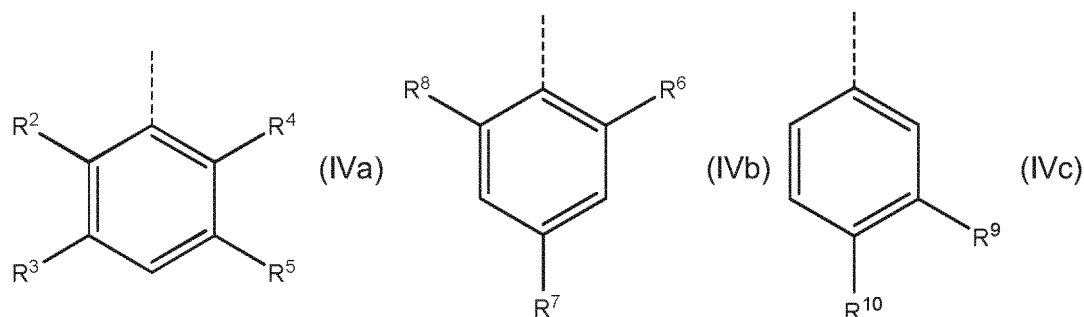
【化 10】



は、アニオンであり、特に、ハライド、 $PF_6^-$ 、 $SbF_6^-$ 、テトラ(3,5-ビス(トリフルオロメチル)フェニル)ホウ酸イオン( $BArF^-$ )、 $BF_4^-$ 、過フッ素化スルホン酸イオン、好ましくは  $F_3C-SO_3^-$  または  $F_9C_4-SO_3^-$ ； $ClO_4^-$ 、

$\text{Al}(\text{OC}_6\text{F}_5)_4^-$ 、 $\text{Al}(\text{OC}(\text{CF}_3)_3)_4^-$ 、 $\text{N}(\text{SO}_2\text{CF}_3)_2^-$ 、 $\text{N}(\text{SO}_2\text{C}_4\text{F}_9)_2^-$  および  $\text{B}(\text{C}_6\text{F}_5)_4^-$  からなる群から選択され、

$\text{R}^1$  は、フェニルもしくは *o*-トリルもしくは *m*-トリルもしくは *p*-トリル、または、式 (IVa) もしくは (IVb) もしくは (IVc) の基のいずれかを表し、  
【化 11】



(式中、 $\text{R}^2$  および  $\text{R}^3$  は、共に H もしくは  $\text{C}_1 \sim \text{C}_4$  アルキル基もしくはハロゲン化  $\text{C}_1 \sim \text{C}_4$  アルキル基を表すか、または、ハロゲン原子もしくは  $\text{C}_1 \sim \text{C}_4$  アルキル基もしくは  $\text{C}_1 \sim \text{C}_4$  アルコキシ基により任意選択により置換されている 6 員脂環式もしくは芳香族環を一緒になって形成する二価の基を表し、

$\text{R}^4$  および  $\text{R}^5$  は、共に H もしくは  $\text{C}_1 \sim \text{C}_4$  アルキル基もしくはハロゲン化  $\text{C}_1 \sim \text{C}_4$  アルキル基、または、ハロゲン原子もしくは  $\text{C}_1 \sim \text{C}_4$  アルキル基もしくは  $\text{C}_1 \sim \text{C}_4$  アルコキシ基により任意選択により置換されている 6 員脂環式もしくは芳香族環を一緒になって形成する二価の基を表し、

$\text{R}^6$  および  $\text{R}^7$  および  $\text{R}^8$  は、各々、 $\text{C}_1 \sim \text{C}_4$  アルキル基またはハロゲン化  $\text{C}_1 \sim \text{C}_4$  アルキル基を表し、

$\text{R}^9$  および  $\text{R}^{10}$  は、共に H もしくは  $\text{C}_1 \sim \text{C}_4$  アルキル基もしくはハロゲン化  $\text{C}_1 \sim \text{C}_4$  アルキル基、または、ハロゲン原子もしくは  $\text{C}_1 \sim \text{C}_4$  アルキル基もしくは  $\text{C}_1 \sim \text{C}_4$  アルコキシ基により任意選択により置換されている 6 員脂環式もしくは芳香族環を一緒になって形成する二価の基を表す)

ならびに、\* は、式 (III) の錯体の不斉中心を表す)